

## 平成30年8月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,582,351</b>	<b>203,319</b>	<b>970,516</b>	<b>37.6%</b>	<b>1,611,835</b>		
1. 営業収益	2,257,090	198,935	949,845	42.1%	1,307,245		
1. 給水収益	2,225,880	198,459	946,944	42.5%	1,278,936		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,210	477	2,901	9.3%	28,309		
2. 営業外収益	325,076	4,199	20,486	6.3%	304,590		
3. 特別利益	185	185	185	100.2%	△ 0		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,592,508</b>	<b>136,750</b>	<b>406,205</b>	<b>15.7%</b>	<b>2,186,303</b>	<b>788,135</b>	<b>30.4%</b>
1. 営業費用	2,350,729	94,803	363,964	15.5%	1,986,765	745,895	31.7%
1. 原水及び浄水費	520,268	33,540	139,947	26.9%	380,321	331,983	63.8%
2. 配水費	317,000	31,561	103,826	32.8%	213,174	166,871	52.6%
3. 給水費	113,496	9,419	26,272	23.1%	87,224	43,939	38.7%
4. 受託工事費							
5. 業務費	161,089	12,988	54,318	33.7%	106,771	152,151	94.5%
6. 総係費	141,814	7,296	39,601	27.9%	102,213	50,951	35.9%
8. 減価償却費	1,026,962				1,026,962		
9. 資産減耗費	70,100				70,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	220,978	41,947	41,947	19.0%	179,031	41,947	19.0%
3. 特別損失	801		294	36.7%	507	294	36.7%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>1,501,839</b>	<b>4,964</b>	<b>241,892</b>	<b>16.1%</b>	<b>1,259,947</b>		
1. 企業債	978,800		158,900	16.2%	819,900		
2. 負担金・補償金	185,107	3,733	10,214	5.5%	174,893		
3. 補助金	188,542				188,542		
4. 出資金	140,513		66,200	47.1%	74,313		
5. 加入金	8,877	1,231	6,577	74.1%	2,300		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>2,702,176</b>	<b>177,324</b>	<b>516,984</b>	<b>19.1%</b>	<b>2,185,192</b>	<b>878,289</b>	<b>32.5%</b>
1. 建設改良費	1,999,042	33,073	372,733	18.6%	1,626,309	734,038	36.7%
1. 取水施設整備費	288,626		253,903	88.0%	34,723	255,199	88.4%
2. 導水施設整備費							#DIV/0!
3. 浄水施設整備費	170,127				170,127	124,362	73.1%
4. 送水施設整備費							#DIV/0!
5. 配給水施設整備費	1,537,889	33,073	118,830	7.7%	1,419,059	354,477	23.0%
6. 消防設備整備費	2,400				2,400		
2. 企業債償還金	703,134	144,251	144,251	20.5%	558,883	144,251	20.5%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>52,436</b>	<b>1,251</b>	<b>10,975</b>	<b>20.9%</b>	<b>41,461</b>	<b>10,975</b>	<b>20.9%</b>
①有収水量	7,780,100	702,215	3,308,108	42.5%	4,471,992		
②供給単価	286.10	282.62	286.25	100.1%	△ 0.15		
③給水原価	333.12	194.74	122.70	36.8%	210.42		
<b>人件費</b>	<b>235,407</b>	<b>16,465</b>	<b>87,472</b>	<b>37.2%</b>	<b>147,935</b>		
1. 収益的収支	193,557	13,399	68,777	35.5%	124,780		
1. 職員給与費	193,435	13,350	68,728	35.5%	124,707		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	122	49	49	40.2%	73		
2. 資本的収支	41,850	3,066	18,695	44.7%	23,155		
* 職員給与費	235,285	16,416	87,423	37.2%	147,862		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%	6.7%	7.3%				
2. 全職員	10.6%	8.3%	9.2%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>45,818,056</b>	<b>46,164,558</b>	<b>346,502</b>	
*減価償却累計額	19,449,164	19,449,164		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,098,763</b>	<b>3,455,107</b>	<b>356,344</b>	
1. 現金預金	2,770,917	3,098,036	327,120	
2. 未収金	237,379	222,330	△ 15,049	
3. 貸倒引当金	△ 5,133	△ 5,133		
4. 貯蔵品	32,638	32,900	263	
5. 前払費用・前払金	57,830	53,824	△ 4,005	工事前払金等
6. その他		48,016	48,016	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>385,232</b>	<b>385,232</b>	
1. 営業費用		343,013	343,013	
2. 営業外費用		41,947	41,947	
3. 特別損失		272	272	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>52,674,825</b>	<b>53,762,904</b>	<b>1,088,078</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,631,620</b>	<b>11,790,520</b>	<b>158,900</b>	
1. 企業債	11,385,036	11,543,936	158,900	
2. 引当金	246,584	246,584		
<b>F. 流動負債</b>	<b>908,847</b>	<b>856,644</b>	<b>△ 52,203</b>	
1. 企業債	703,132	558,881	△ 144,251	H30年度償還元金
2. 未払金	119,676	206,838	87,163	
3. 前受金	72,517	6,359	△ 66,158	
4. 引当金	13,054		△ 13,054	・賞与引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	468	84,566	84,098	
うち仮受消費税		72,127	72,127	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,958,276</b>	<b>9,974,580</b>	<b>16,304</b>	
1. 長期前受金	9,958,276	9,974,580	16,304	・償却資産に係る財源のうち、補助金・補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,758,006	3,758,006		
<b>H. 資本金</b>	<b>10,547,278</b>	<b>10,613,478</b>	<b>66,200</b>	
1. 自己資本金	10,547,278	10,613,478	66,200	・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>174,507</b>	<b>174,507</b>		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかもの
2. 利益剰余金	151,607	151,607		
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>898,877</b>	<b>898,877</b>	
1. 営業収益		879,701	879,701	
2. 営業外収益		19,004	19,004	
3. 特別利益		172	172	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>52,674,825</b>	<b>53,762,904</b>	<b>1,088,078</b>	
a. 供給単価 (円、銭)	265.05	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	116.37	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	240.87	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	73.83%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	85.90%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	402.73%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	361.65%	=現金預金÷流動負債		

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成30年8月期 業務実績報告書（水道管理課）

一 般 事 項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,408	152,535	152,900	153,274	△ 365	△ 739
2 調定水量	m <sup>3</sup>	697,959	3,286,829	3,329,000	3,357,002	△ 42,171	△ 70,173
3 調定料金(税抜)	円	183,731,798	876,762,524	882,000,000	892,807,069	△ 5,237,476	△ 16,044,545
4 口振加入件数	件	25,145	125,876	—	126,456	—	△ 580

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	79,842	—	80,823	△ 981
6 給水件数	件	30,303	—	30,398	△ 95
7 開栓処理件数	件	224	1,283	1,542	△ 259
8 閉栓処理件数	件	197	1,196	1,403	△ 207
9 給水工事設計審査	件	51	368	276	92
10 給水工事竣工検査	件	51	413	369	44
11 経年メーター交換	件	282	2,491	1,541	950
12 メーター口径変更	件	5	24	17	7
13 月末停止件数	件	△ 4	107	87	20

3 料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
14 当年度分	207,560,083円	78.08%	205,836,398円	78.65%
15 過年度分	5,598,856円	97.11%	5,339,772円	97.15%
16 計	213,158,939円	—	211,176,170円	—

4 給水装置工事指定業者（指定停止中2社）

追町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	16	12	13	9	8	14	7	105	119	224

5 入札・契約

(左：当月 右：累計)

項目	累計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	7	8	6	7	21	22	1	1	14	14	0	0
入札件数	7	8	6	7	21	22	1	1	14	14	0	0
契約締結	一般	2	6	2	6	0	0	0	0	0	0	0
	指名	4	43	4	14	0	13	0	0	0	16	0
	随契	1	12	0	1	1	1	0	8	0	2	0
	合計	7	61	6	21	1	14	0	8	0	18	0

《中止 当月 0件 / 累計 1件》《不調 当月 1件 / 累計 1件》《取消 当月 0件 / 累計 0件》《未契約 0件》

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当月件数	内 容
竣工検査	6	0	
中間検査	3	1	工事
合計	9	1	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	3 日	8月 事業打合せ等
事業調整会議	3 日	第5回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
安全衛生委員会	7 日	第5回 健康診断等・ストレスチェックについて
水道事業連絡会議	8 日	第5回 業務報告、日程調整、業務打合せ
水道プースター会議	— 日	—
給水拠点設置訓練	20 日	8月期 石越総合支所
経営分析会議	22 日	7月期 各種経営分析等
例月出納検査	28 日	7月期 例月出納検査
指名委員会	2・10・23・29 日	第14回・第15回・第16回・第17回
入札	2・23 日	4件・4件
緊急メールの発信	— 日	漏水 8、破損 1、水質 1、取停 5、停電 1

特 記 事 項

1. 8月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は198,458千円（税込）で、前月期に比べて13,818千円の増で、予算執行率42.5%（前年度43.0%）、対前年同月比（累計）では2,910千円の増となっています。営業収益は手数料収益476千円を含む198,935千円、営業外収益は事務手数料3,829千円を含む4,198千円となりました。

当期の営業費用は136,749千円を執行し、累計額は363,964千円、予算執行率（累計）は15.5%（前年度16.0%）となりました。営業外費用では企業債利息に41,946千円を執行しております。

イ 資本的収支

当期の収入は工事負担金3,732千円、加入金1,231千円を執行し、累計額は16,791千円、予算執行率（累計）1.4%（前年度0.4%）となりました。

支出は配給水施設整備費に20,433千円、企業債元金償還に144,251千円を執行し、累計額は183,185千円、予算執行率（累計）8.0%（前年度6.8%）となりました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に2,593千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市上水道事業運営審議会を開催

8月7日（火）に登米市上水道事業運営審議会を開催しました。今回は、下り松ポンプ場が完成したこともあり、午前には施設見学、午後には会議といった日程で開催しました。施設見学は水の流れに沿って下り松ポンプ場・保呂羽浄水場の順にまわり、委員の皆さんは質問を交えながら興味深くご覧になっていました。

午後の会議では、平成29年度登米市水道事業会計決算について審議していただきました。その他、平成29年度の状況を記載した登米市地域水道ビジョン実施計画と毎月作成している業務実績報告書について説明を行いました。業務実績報告書については「市民の皆さんに参考となる内容と思われるので、もう少し周知の方法を工夫するように」といったアドバイスをいただきました。



【 下り松ポンプ場 】



【 保呂羽浄水場 】



【 会議の様子 】

(2) 職員自主研修

登米市水道事業では、環境負荷低減とともに資産の有効活用の観点から、非常に関心度が高い案件となっている「管路に流れる水のエネルギーの小水力発電などへの利用」について、今後検討を予定しています。そこで、より充実した検討内容とするため、水道事業所職員が中心となり「平成30年度職員自主研修」として8月29日（水）～30日（木）の2日間、先進的に小水力発電やエネルギーの有効利用に取り組んでいる「北海道札幌市水道局（藻岩浄水場）」の視察を行いました。

視察では、藻岩浄水場の担当者から水力発電実施までの経緯や有効性、発電事業を継続するうえでの留意点などについて映像を交えて説明が行われたほか、実際に発電を行なっている発電タービンを見学しました。研修内容は、11月に開催予定の研修発表会で報告する予定となっています。



【 疑問点について質疑 】



【 巨大なタービンを見学 】



【 下水道についても視察 】

# 平成30年8月期 業務実績報告書（水道施設課）

## 一般事項

### 経営分析の状況

#### ◎ 配水量の状況

(単位：m<sup>3</sup>)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	857,051	4,189,743	4,154,320	4,218,934	35,423	△ 29,191
総配水量	791,989	3,850,973	3,868,070	3,953,019	△ 17,097	△ 102,046
1 有効水量	751,155	3,540,075	3,601,950	3,617,916	△ 61,875	△ 77,841
(1) 有効水量	702,215	3,308,108	3,350,000	3,378,262	△ 41,892	△ 70,154
(2) 無効水量	48,940	231,967	251,950	239,654	△ 19,983	△ 7,687
2 無効水量	40,834	310,898	266,120	335,103	44,778	△ 24,205
(1) 漏水量	40,467	308,874	263,000	334,023	45,874	△ 25,149
(2) その他無効水量	367	2,024	3,120	1,080	△ 1,096	944
3 有収率	88.66%	85.90%	86.61%	85.46%	-0.70%	0.44%

※ 当月期の最大配水量は、1日(水)に記録した【28,647m<sup>3</sup>】です。

#### ◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
ア 取水施設整備事業	4	25,029	1	1,296			23,733	5.18%
ウ 浄水施設整備事業	12	170,127	6	124,362			45,765	73.10%
オ 配給水施設整備事業	74	1,400,311	30	191,713	2	38,934	1,169,664	16.47%

※ 件数及び金額は、工事+委託(事務費・人件費含む)の合計です。

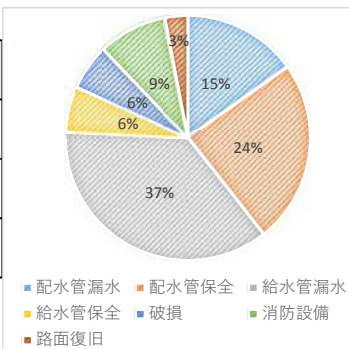
#### ◎ 毎日検査

※ おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4mg/l以下

	保呂羽浄水場 F1 遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数：7)	東和町水系 (測定戸数：9)	石越町水系 (測定戸数：1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数：2)
平均	0.83	0.36	0.41	0.51	0.53
最高	0.92	0.60	1.20	0.60	0.80
最低	0.76	0.13	0.10	0.40	0.25

#### ◎ 特定工事発注状況

	配水管 漏水	配水管 保全	給水管 漏水	給水管 保全	破損	消防 設備	浄水施設	路面 復旧	その他	計
月計	5	8	12	2	2	3	0	1	0	33
累計	40	58	49	11	9	10	5	15	0	197
前年同 月累計	34	32	37	13	5	14	14	10	6	165



## 特記事項

### 1. オイルフェンス設置訓練を実施しました

8月21日(火)、下り松取水塔において、オイルフェンスの設置訓練を実施しました。訓練は、北上川上流で自動車事故が発生したことにより、オイルが河川内に流入したことを想定し、オイルが混じった水を取水口に入れないことを目的として実施しました。訓練には、職員及び浄水施設等管理運転業務受託者など約30名が参加しました。

訓練は、川岸でオイルフェンスを連結しボートで移動しながら100mのオイルフェンスを30分かけて設置しました。

参加した職員は「訓練では大きな問題もおきず、順調に進んだように思う。訓練を行い、万が一の事態に備えたい」と意識を新たにしていました。

市民生活に欠かすことが出来ないライフラインである水道施設を運用するにあたり、風水害等の自然災害や油等の水質事故、さらにテロ等の社会的災害に対しては、不断の対策が必要となっております。水道事業所では、定期的実践的な訓練を行ない、危機管理体制の確認と職員の対応能力の向上を図ります。



オイルフェンスを設置している様子



モーターボートでオイルフェンスを設置している様子

### 2. 大萱沢浄水場ろ過池砂掻き取り作業の実施について

8月23日(木)、大萱沢浄水場において、ろ過池の砂掻き取り作業を実施しました。

水の浄水方法は、大きく分けて急速ろ過方式と緩速ろ過方式がありますが、大萱沢浄水場は市内で唯一、緩速ろ過方式でろ過を行う浄水場です。緩速ろ過池に原水を通していくと、砂層の上に厚さ数ミリの藻類や微生物による生物ろ過膜が自然につくられます。緩速ろ過池では、主にこの膜を通過するときに微生物の働きなどによって、水がきれいになります。大萱沢浄水場は、この現象を利用して浄水するシステムの浄水場です。

しかし、緩速ろ過方式は、生物膜がないとその機能を発揮することが出来ません。汚れなどによって砂の透水性が下がると、「砂掻き」と呼ばれる作業で表層部の堆積物を掻き取り清掃します。大萱沢浄水場は年1回程度砂掻き作業を実施し、ろ過能力の低下を防いでいます。また、砂掻きを繰り返すうちにろ過層が徐々に減少していくことから、元のろ過層厚に戻す「補砂」を行います。今年度から3ヵ年をかけ一池づつ、補砂を行っていくこととしています。水道事業所では、今後も、安心・安全な水づくりを行ってまいります。



ろ過砂の表面を掻き取り清掃している様子



ろ過砂をバキューム車で搬出している様子

### 3. 平成30年8月の漏水調査結果について

8月末の漏水調査の結果、1件0.3m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しました。8月末での有収率は85.90%となっており、平成30年度末で計画有収率86.1%を目標に調査を実施します。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m <sup>3</sup> /h)
	配水管	0	0.000
	付属施設	0	0.000
	給水管	1	0.300
	計	1	0.300